

製函工程とは？

所定の大きさに切断された段ボールシートを、みなさんが知っている段ボール箱にするための製函(せいかん)工程を担う「製函機」について、ここでは紹介します！

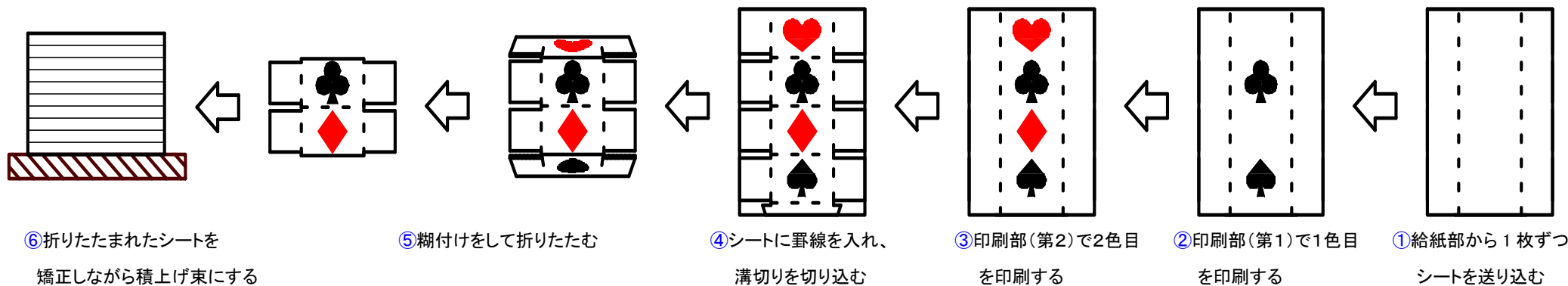
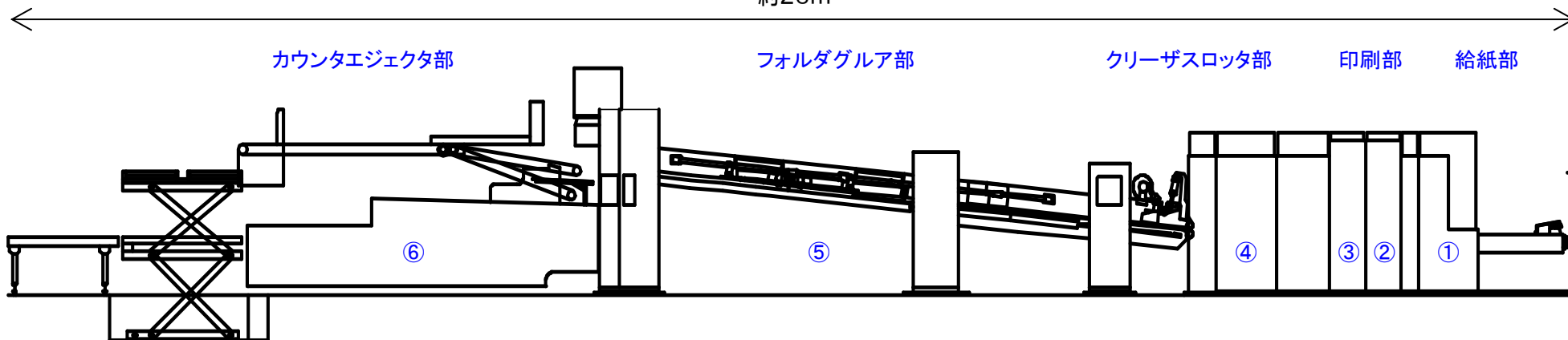
段ボールシートに印刷、切り込み、糊付け、折り曲げをし、出来上がった段ボール箱を積上げる機械です。製函機だけで、全長26mほどの大きさです。

シートの自動供給、出来上がった段ボール箱の束を結束にする、結束された段ボールを移動させる、その全ての工程を行う機械を合わせると、全長50mほどになります。

製函機の工程の詳細を、少し覗いてみましょう！



約26m



⑥ 折りたたまれたシートを
矯正しながら積上げ束にする

⑤ 糊付けをして折りたたむ

④ シートに罫線を入れ、
溝切りを切り込む

③ 印刷部(第2)で2色目
を印刷する

② 印刷部(第1)で1色目
を印刷する

① 給紙部から1枚ずつ
シートを送り込む

【カウンタエジェクタ部】

【フォルディング部】

【クリーザスロット部】

【印刷部】

【印刷部】

【給紙部】